

2012年(平成24年)2月20日月曜日

2版

6

富士山の「応援歌」CDに

故阿久悠さんの詞に加藤登紀子さんが曲



阿久悠さんが作詞した「富士が好き」の歌詞を手にするNPO法人「グラウンドワーク三島」の事務局長渡辺豊博さん=静岡県三島市

「朝に見ても富士は富士 夕べに見ても富士は富士」。2007年に死去した作詞家阿久悠さんの詞に、歌手加藤登紀子さんが曲を付けた歌が、23日の「富士山の日」にCD発売される。政府が推薦書を提出するなど富士山の世界文化遺産登録を目指す動きが活発化する中、地元の関係者からは「新たなテーマ曲として定着させたい」との期待の声が出ている。

静岡・三島のNPO定着に期待

CD化を進めたのは、
静岡

県三島市のNPO法人「グラウンドワーク三島(GW三島)」の事務局長渡辺豊博さん(61)。世界自然遺産登録への推薦が見送られた後の2006年、「富士山の応援歌になるような曲はないだろうか」と知人の音楽プロデューサー酒

井政利さんに相談。静岡県伊東市に別荘を持っていた阿久さんが、「富士が好き」とのタイトルで03年に作品を書いていたことを知った。

阿久さんに直接思いを伝え、承諾を得て作曲を加藤さんに依頼。「笑って見ても富士は富士 泣くでも富士は富士」といった歌詞に、明るくアップテンポな曲調の歌が誕生。曲名は「富士山だ」とした。

歌い手の選定作業が進まず、阿久さんの死後も長くお蔵入りしてしまってになつたが、今年1月に政府が富士山を世界文化遺産登録に推薦したことを利用に関係者らが再度集結。ジャズ歌手らによるユニット「ムーン・リバーウォーカーズ」が歌うことが決まり、CDが完成した。一枚1200円で、収益の一部は、富士山の環境保護活動を支援する基金に寄付するという。